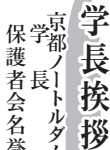




## 2013年(平成25年)9月1日 No.9

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町 1  
TEL:075-706-3700 FAX:075-706-3707  
e-mail: hogoshakai@notredame.ac.jp



芹田 健太郎

おり、今流行っているのはグローバル人材の育成です。今の内閣もこれについてはお金をつけてグローバル人材の育成、養成ということを大変強調しております。

えましたが、そもそもの最初からグローバルということ意識した大学でした。カトリック大学の「カトリック」というのは普遍的という意味です。しかもここを建てた教育修道女会というのは世界中に修道会の網の目を持っているとすの目です。グローバルというのは当然であつたわけです。ただ、皆さまでご承知のとおり、20年ほど前に日本で流行ったのは国際化でした。これは自国や会社や自分を国際基準通りにしていくとか、国際色を満たすとかという意味の国際化という言葉でした。英語ではインターナショナルという言葉で、当時はインターナショナルイゼーションといいました。今の用語



京都ノートルダム女子大学  
保護者会会長 二田 卓

歴代会長や諸先輩方の築いてこられました成果を学び、その功績を無にしないよう

様の、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

保護者会の目的は、「京都ノートルダム女子大学の教育方針にのっとり、大学の発展と教育目的達成に協力するとともに会員相互の親睦をはかることと、会則に謳われております。会則に示す様に、大学側とのコミュニ

また、人と自然の共生の大切さを知り、そのために行動できる人となる。」という教育理念は、力強く頼もしさを感じます。

子ども達が心身ともに健やかに育ち、学業を修め、社会に貢献し、もって京都ノートルダム女子大学の名が高まり行くこと、これは本学に関係するすべての人々に共通する願いであると思います。

目まぐるしく変化する時代の中、相変わらず厳しう就職環境が続きますが、次世代を担う子ども達が、自らの行動の結果として様々な新しい「芽」を携えて立派な社会へ羽ばたき、強く生きていくことを保護者会として、力強く応援したいと

考えます。

子ども達によりよい成長の場を作り上げていく事が出来るように、保護者・大学学生の三者が良好な関係を築き、さらに強固で成熟した組織に成長するよう、ご協力を仰ぎながら一歩ずつ活動してまいりたいと考えます。

また、毎年保護者会の事業に際しまして、事務局の皆様にも大変ご尽力いただいております。この場をお借りして、御礼申し上げます。

最後に御礼申し上げますが、皆様のご健勝とご多幸を祈念し、京都ノートルダム女子大学の一層の発展を願ひまして、保護者会会長就任の任にご挨拶とさせていただきます。

目指して調整するといふ。この  
点は希薄でした。しかし、  
現在はグローバル社会、地  
球全体のために調整するとい  
う観点が増大しています。  
たとえば地球温暖化の問題  
などを考えなくては。でもも  
ろグローバル社会という地球  
全体でひとつであるというよ  
うな人類社会はないのでは  
ないか、という意見もあり  
これについては未だに議論  
があります。それぞれの国  
家を超えた地球社会、人類  
社会というのはあるのか。  
私どもはあえて思っておりま  
す。その地球社会の中で働  
く、日本という国の中にい  
てもグローバルなコミュニテ  
イを旨指して働く、自国の  
中においても外においても働く。  
そういう意識を持った女性  
を育てていくというのを私  
たちは目指して、さらに実  
現していくと思っております。

グローバル人材を育てる  
といふことについて、今いわ  
れているのは、英語ができ  
る、しかも英語で外国人と  
丁々発止とわたりあつて什  
事ができる人材の養成です。  
しかし、そこで何のために  
働くのか。我々が目指してい  
るのは、国のため、ある

いは企業のために働くということかも知れない。しかし、そこから先にかつという視点を持つて働くのかということとを考える女性になってもらいたいと思っています。

それには、まず基本は自尊心。自分に対して自信を持ち、人を貶めたり人の批判をしたりなどをするこによつて自分を確かめるのではなく、自尊心を持ったうえで他の人が分かるということ、国際的な面で見ると、やたらと他人の、よその国の悪口をいうとかあるいは喧嘩を売ろうかなことではなくて、まず自分のことをしっかりと確認して他の人も自分と同じであるという視点を明確にもった、そういう品性を備えた、知性を備えた女性を育てていきたいと思っております。これから私も頑張つてそのようにしてゆきたいと思っております。保護者の皆さまには安心してお嬢様をお預けください。そういう目的を持った大学だということを是非心に留めて頂いて私たちを支え、お嬢様を育ててくださいば嬉しいと思います。

(6月16日 保護者会総会での挨拶より)

平成25年度地区教育懇談会を、京都、福井の2会場で開催します。

修学相談は、学部・学科の教員が前期までの成績をもとに相談に応じます(指導教員とは限りません)。また、学生生活や就職活動についてのご相談に

も応じます。  
 お子様のことで気に懸けておられる  
 ことがありましたら、この機会に何なり  
 とご相談ください。  
 ＊同封の「参加票はがき」にてお申し  
 込みください。

日時＝平成25年10月5日(土)  
13時30分～16時00分  
場所＝本学  
内容＝◆13時00分 受付開始  
◆13時30分  
学長挨拶  
保護者会会長挨拶  
◆13時45分  
個別相談  
修学・就職・学生生活

日時＝平成25年10月6日(日)  
14時00分～16時00分  
場所＝福井フェニックスホテル  
福井県福井市大手2丁目4-18  
TEL: 0776-21-1800  
JR北陸本線「福井駅」  
西口より徒歩3分

内容＝◆13時30分 受付開始  
◆14時00分 開会挨拶  
懇親会  
◆15時00分 個別相談  
修学・就職・学生

本学では、今秋も各学部・学科、センターによる公開講座・講演会を催いたします。どなたでも参加いただけますので、お誘いあわせのうえ、気軽にご来聴ください。

[但し10月12日と11月30日はア  
サンブリーホール]

11月16日14時00分～16時10分

13時30分～16時00分  
(13:00開場)

\* 入場無料 \* 申込不要

<http://www.notredame.ac.jp/>

---

平成25年度 総会報告

平成25年6月16日(日)13時30分から17時30分まで、京都ノートルダム女子大学にて、平成25年度保護者会総会が開催されました。

第Ⅰ部の総会(13時30分～14時20分)では、報告事項として①平成25年度役員報告②平成24年度事業報告が行われました。続いて、①

平成24年度収支決算(案)②平成25年度事業計画(案)③平成25年度収支予算案について審議があり、すべて承認されました。第Ⅱ部の講演(14時20分～15時20分)では、保護者の方々に就職環



就職内定者

水野潤一郎長

平成25年度 役員・評議員

評議員

|                 |               |
|-----------------|---------------|
| 会長              | 三田村 淳 市(心理4年) |
| 副会長             | 金井 幸 子(心理4年)  |
| 徳永 信 一(心理3年)    | 東 佳英子(心理3年)   |
| 理事 小島 恵 子(英文4年) | 飯田 直 美(生福2年)  |
| 西平 圭 子(生福3年)    | 赤井 悟(心理2年)    |
| 早川 信 司(生福2年)    | 大原 慶 子(心理1年)  |
| 宮崎 真里子(生福2年)    | 十史子(英文1年)     |
| 監督 佐 佳代子(英文4年)  | 大橋 正 季(生福1年)  |

キャリアセンター便り

キャリアセンターは、今年度、芹田新学長の方針により、新たに事務部長を迎えて学生支援体制を強化しました。キャリアセンターは、学生の進路支援とキャリア教育、この2つを業務の柱としています。具体的にそれぞれ、各学年の学生にどのような対応をしているか、ご紹介させていただきます。

○キャリア教育

段階的な「キャリア形成カリキュラム」に従って、キャリア教育科目を開講しています。

まず1年生必修科目「ノートルダム学」で、「ライフキャリア」というものの意味やそれを考えることの重要性を学び、それに続く「女性とライフキャリア」(1年生後期から2年生対象で、女性の一生やワーク・ライフ・バランスに対する考え方を学びます。それを基礎として、「キャリア形成」(2、3年生対象)では、職業生活に必要な能力やものの考え方、就業への姿勢や必要なスキルを養成します。

○進路支援について

キャリアガイダンスの中心は3年生になります。4月のオープンニング説明会の後、前期は企業研究、各業界セミナーやビジネスマナー講座などの、就活への準備のためのセミナーが続きます。前期最後のセミナーでは就職活動に向けた夏季休暇の過ごし方

や、Uターン就職をする学生向けのセミナーも用意しています。

後期は10月第1水曜日のキックオフセミナーに始まり、筆記試験講座や履歴書、エントリーシートの書き方講座などの試験対策に加え、就職内定者や卒業生から就職体験の話を聞く機会を何回か設けています。

さらに今年度は、従来からの水曜17時から土曜17時までのセミナーに加え、金曜17時から、就職試験対策の特別講座を設ける予定です。基礎学力試験(SPI)の特別講座や事務部長による時事問題講習、さらにはグループディスカッション対策講座など、いずれも本学学生の「泣き所」への対策で、自信を持って就職活動に望めるよう強化を図るのが目的です。

4年生については、個別の対応が中心になります。夏休み前に就職先が内定する学生ばかりではなく、多くの学生は就職活動期間が長丁場になるのですが、個々の就活状況に応じて、書類の書き方や面接の受け方などの個別相談に応じる一方、本学での企業説明会を随時開催し、未内定者には個別に参加を呼び掛けるなどしています。

一方、低学年はキャリア教育の正課授業が中心になるのですが、その授業を窓口にして、担当のセンター専任講師が個人面談を随時行っています。キャリア意識やキャリア形成に向けた学習意欲があまり高くない学生に対して、何とか前向きに大学生活を送れるよう、援助しています。もちろん、1、2年生でも3年生向けガイダンスに参加することは可能ですし、すでに進路への明確な希望をもっている学生には個別の進路相談も受け付けています。さらに今年度は、職業観を養うための企業現場を見学、体験するツアーを年度末に計画しています。

いづれにしても、一度でもセンターに足を運んでくれた学生については、キャリアセンタースタッフはその顔と名前を覚え、それ以後、個別の事情に応じた支援をしていきます。小規模大学ならではの「固有名詞の対応」、これが本学キャリアセンターの方針です。まずはキャリアセンターに立ち寄っていただき、きまきま、ご家庭でもキャリアセンターのことを話題にしてみてくださいと思います。

キャリアセンター所長 生活福祉文化学部 教授 中村 久美

北山キャンパス総合整備計画(大学)の工事進捗状況について



北山キャンパス整備計画の進捗状況につきましては、毎回「保護者会通信」の紙上をお借りし、皆様にご報告させて頂いているところですが、今回は特に、前号(8号)で、ご紹介させて頂いた以降の進捗状況について、ご紹介申し上げたいと存じます。

皆様のご協力により、工事は着実に進展しているところですが、平成24年7月末に解体工事を行ったユージニア館(北側棟)跡地に、現在、大学新本館新設工事(鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上4階建 延床面積9,754㎡)が平成26年2月末の竣工を目指し、急ピッチで進められております。(工事進捗率35.0%)

現在は、出来上がった基礎の上に鉄骨の柱・梁・床版を地下1階から地上4階まで組み立てています(この鉄骨材を用いた構造は耐震性にも優れ、工期を無理なく促進できる合理的な工法)が、10月末には躯体工事(屋上コンクリート打設)が完了します。また、本年8月下旬から「屋外配管工事及び守衛室増築工事」を行っていますが、11月末に工事完了の予定です。

躯体工事の完了後は、内外装工事等を促進し来春2月末の完成を目指して、工事関係者(株式会社梓設計、鹿島建設株式会社)の技術力を結集し滞りなく進めて行きます。

これら工事の進捗に併せ、キャンパス整備委

員会(委員長 岩崎教授)では、現在までに新本館外装の色決め等を終了し、使用する外壁タイルや石材についてメーカー側が製造を開始しています。また、内部の細かい収まりや導入するICT設備、家具・什器等の取り決めも各部署の教職員、特に、住居学に詳しい生活福祉文化学部の教員及び図書館等に詳しい人間文化学部の教員からの専門的な意見や、日頃、学生へのサービスを直接執り行う関係部署の意見を十分に取り入れて進めております。

新本館の施設については、既にご紹介しましたように、地下1階に図書館(書庫)、グループ学習室、1階に事務室・閲覧室等、食堂(343席)、学生ラウンジ(フレンドシップハウス64席)、ラーニング・コモンズ(今までの図書館に新たな機能をプラスした施設)、グループ学習室、2階にイマージョンスペース(言語を体験的に学習するスペース)、国際教育課、情報演習室(3室、編集工房を含む)、小教室(3室)、学生ロビー等、3階に聖堂、シスターズラウンジ、自習スペース兼カトリックギャラリー、カトリック教育センター、アクティビティスペース(学生の主体的、実践的な学習をサポートするスペース)、講義室(大・中)、教室(中5室・小4室)、4階に教室(大4室、中1室)、売店、カフェスペースが配置されます。また、屋



上には緑化や太陽光パネルを設置するなどエコ対応も進めます。そして来春3月には家具・什器・備品等を完備し、在校生と共に平成26年度新入生を新本館で迎え入れます。



26年9月までに行い、同11月から27年1月まで既設テレジア館、ユージニア館別館、ユニソソ会館の部分改修部分改修を行った後に既設ユージニア館(残部分)を解体し、緑化等の外構工事を行いキャンパス整備が全面完了します。これにより平成27年度新学期からは新しく生まれ変わった京都ノートルダム女子大学がスタートすることになります。

現在の少子化において、各大学とも厳しい状況にありますが、更に女子のみを迎え入れる本学にとっては施設・設備面においても一層の整備が必要と思われます。何よりも学生にとって安全で快適な使いやすい施設・設備とするため、委員会、設計監理者、施工者が共に再三のワーキング等を開催し、精力的に協議を重ねているところです。在校生は勿論これから本学に入学する学生に対して、十分な満足感を与えられるキャンパス整備を目指します。今後とも、保護者会の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。事務局長 下地 隆

編集後記

芹田健太郎学長が本年4月に第8代学長として就任しました。新学長のリーダーシップの下、大学改革が進められておりますが、現在の学部学科体制の見直しを図り、新たな時代の

要請に応える組織改組の検討が精力的に行われております。次号ではその概要が紹介できると思います。引き続き、保護者会の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

たな学部学科が開校し、新キャンパスに生まれ変わった京都ノートルダム女子大学がスタートします。引き続き、保護者会の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。(S.T.)

なお、苅苗暢夫副学長が本紙計報のとおり、ご逝去されました。同副学長の本学における多大な尽力・ご功績を偲び、ご冥福を心から祈り申し上げます。

(S.T.)

リングの外側中央に学章の一部に使われているイエス・キリスト(Jesus)と聖母マリア(Maria)の頭文字「JM」と卒業生のイニシャルが、また内側には大学名と卒業年が入ります。



保護者会では、卒業される学部生の皆さんに本学の思い出となる「卒業記念リング」を贈呈しています。

リングはサイズを合わせて作り、イニシャルが入ります。11月の卒業記念アルバムの個人写真撮影時に申し込みを受け付けますので、4年次生は忘れないように申し込んで下さい。

なお、リング贈呈は保護者会費(4年分)を完納している方に限らせていただいております。

訃報

苅苗 暢夫 副学長

予てより病氣療養中の本学副学長苅苗暢夫先生が7月12日にご逝去されました。



謹んで哀悼の意を表し、安らかなお眠りをお祈り申し上げます。

保護者会よりご葬儀には会長名で弔電を、また7月27日に本学で行われた追悼ミサには役員が参列し、供花を差し上げました。